

# 週間感染症情報

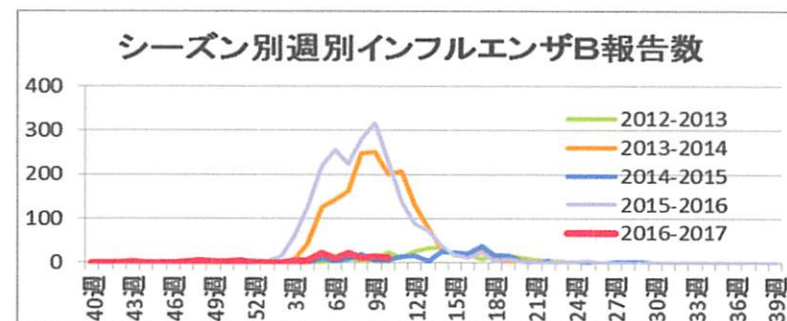
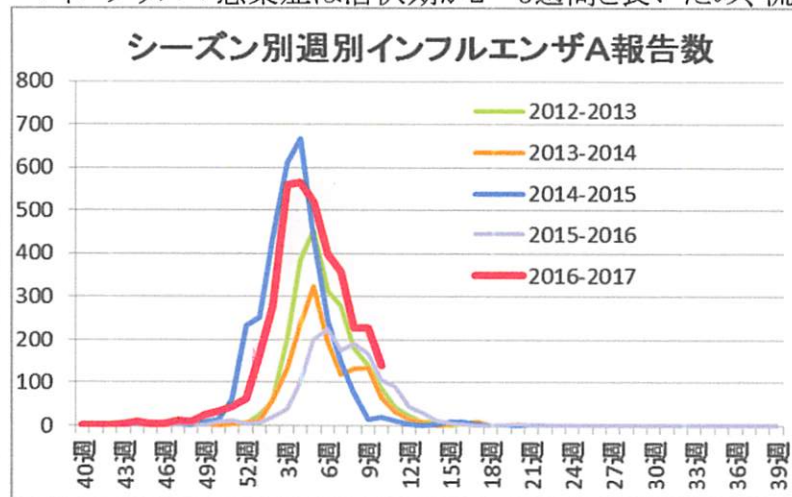
2017年10週 2017年3月6日より2017年3月12日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	1
百日咳	
溶連菌感染症	9
手足口病	
ヘルパンギーナ	1
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	25
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	5
伝染性膿痂疹(とびひ)	1
ヘルペス性口内炎	1
アデノウイルス感染症	2
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	3
インフルエンザ(臨床診断含む)	169
インフルエンザA	140
インフルエンザB	12
A+B	

小児科外来の患者さんは少なくなり、じっくり話をしながら診療できるようになりました。

インフルエンザは、小学校・幼稚園で小流行があり、学年閉鎖ができています。下のグラフは、最近5シーズンのA型とB型の報告数です。スケールをそろえていますので、今シーズンはA型の大きな流行があったことがよく理解できます。倉敷市内では、B型の小流行もあるようですが、総社市内では昭和地区で小流行がありましたが、春休みに入りますのでこのままB型の流行はなくA型の流行のみで終息していくと思われます。私は電子カルテの備考欄にインフルエンザの型別に色をつけていますが、昨シーズンA型に罹患した小児は、今シーズンは周囲で流行があっても患しない傾向がありました。総社市では6シーズン連続してAH3型(香港型)の流行でしたので、抗体価が高く予防できたのではと考えています。もし、来シーズンAH1pdmの流行があれば、幼児・小学生の間で大きな流行になるかも知れません。

感染性胃腸炎は、軽症のウイルス性胃腸炎が多いです。アデノウイルス陽性例が散見されます。アデノウイルス感染症は、市内保育園児です。扁桃炎が主で、感冒症状はあまり目立ちません。マイコプラズマ感染症は潜伏期が2～3週間と長いため、流行期間が長く報告数の多い状態が続いています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)